

## 第四款 記 章

### ● 大禮記念章

大正四年八月十三日  
勅令第百五十四號

朕大禮記念章制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理大臣副署)

### 第一條 大禮記念ノ表章トシテ記念章ヲ設ク

### 第二條 記念章ノ圖式左ノ如シ

章 銀圓形徑一寸輪廓内表面上部ニ金菊御紋、兩側緣ニ櫻  
橋枝ト萬歲椿交架ノ圖、裏面ニ大禮記念章大正四年十  
一月ノ文字ヲ識ス

綬  
銀鱗形

綬 織地幅一寸二分、中央紅色、兩緣白色紅線

記念章ハ綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

### 第三條 記念章ハ左ニ掲タル者ニ之ヲ授與ス

一 践祚ノ式ニ召サレタル者

二 卽位禮及大嘗祭ノ式ニ召サレタル者

三 各所在地ニ於テ饗饌ヲ賜リタル者

四 大禮ノ事務及大禮ニ伴フ要務ニ關與シタル者

### 第四條 記念章ハ本人ニ限リ終身之ヲ佩用シ子孫ヲシテ之ヲ保

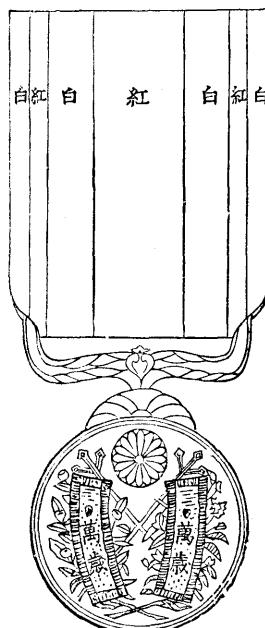
存セシム

〔海軍〕

第五條 記念章ヲ授與セラルヘキ者其ノ授與前死亡シタルトキ  
ハ之ヲ其ノ家督相續人又ハ戸主ニ交付シテ保存セシム  
大禮記念章ノ圖

綬

表 面



●大禮記念章

昭和三年八月一日  
勅令第二百八十八號

朕大禮記念章制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理大臣副署大臣)

第一條 昭和三年十一月行ハル大禮記念ノ表章トシテ記念章ヲ設ク

第二條 記念章ノ圖式左ノ如シ

章 銀圓形、徑一寸トス

表面ニハ輪廓内中央ニ高御座、其ノ中心ニ金菊御紋、

周邊ニ櫻楠文様、左右空間ニ雲文ヲ置キ下方ニ萬歳ノ

文字ヲ識ス

裏面ニハ輪廓ニ菊花形、中央ニ旗形、其ノ左右ニ雲文

ヲ置キ旗形ノ内ニ大禮記念章、下方ニ昭和三年十一月

ノ文字ヲ識ス

環 銀圓形トス

綬 織地、幅一寸二分、青黃赤白紫色ノ等分トス

記念章ハ綬ヲ以テ左肋ニ佩ブ

第三條 記念章ハ左ニ掲グル者ニ之ヲ授與ス

一 践祚ノ式ニ召サレタル者

二 卽位禮及大嘗祭ノ式ニ召サレタル者

三 各所在地ニ於テ饗饌ヲ賜リタル者

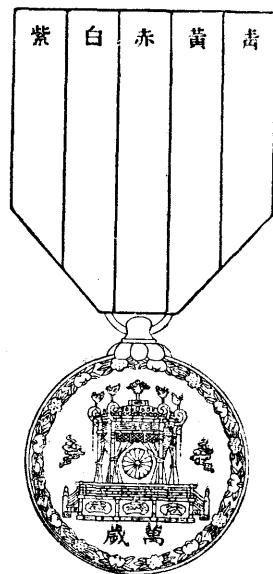
四 大禮ノ事務及大禮ニ伴フ要務ニ關與シタル者

第五條 記念章ヲ授與セラルベキ者ノ授與前死亡シタルトキハ之ヲ其ノ家督相續人又ハ戸主ニ交付シテ保存セシム

大禮記念章ノ圖

綬

表面



〔海軍〕

裏面



章

圓形徑一寸輪廓内表面ニ菊御紋ト檀樹ノ花枝ヲ交叉シタル圖裏面上緣ニ大日本國皇太子中央ニ渡韓記念章下緣ニ明治四十年十月ノ十九字ヲ識ス

環

圓形

綬織地幅一寸二分中央薄群青色共ノ左右黃色兩緣薄群青

記念章ハ綬ヲ以テ左肋ニ佩フ

第四條 記念章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ子孫之ヲ保存スルコトヲ許ス

### ●皇太子渡韓記念章

明治四十年三月二十九日  
勅令第四十二號

(總理大臣  
副署)

記念章ノ圖

表



- 第一條** 皇太子渡韓記念章ハ金銀ノ兩種トス
- 第二條** 記念章ハ明治四十年十月皇太子渡韓ニ關リタル日韓兩國ノ皇族及奏任官以上ノ者ニ之ヲ頒賜ス
- 第三條** 記念章ノ圖式左ノ如シ

## ●韓國併合記念章

明治四十五年三月二十九日  
勅令第五十六號

朕韓國併合記念章制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
(總理大臣副署)

裏



薄群青色

黃色

薄群青色

黃色

綬

薄群青色

- 第一條** 韓國併合記念ノ表章トシテ特ニ記念章ヲ設ク
- 第二條** 記念章ノ圖式左ノ如シ
- 章 黃銅圓形徑一寸輪廓内表面上部ニ菊御紋、兩側緣ニ桐樹及李樹ノ花枝ノ圖、裏面上部ニ明治四十三年、下部ニ八月二十九日、中央ニ韓國併合記念章ノ文字ヲ識ス
- 環 銀圓形
- 綬 織地幅一寸二分、中央紅色、其ノ左右黃色、兩緣白色
- 第三條** 記念章ハ綬ヲ以テ左肋ニ佩フ
- 一 韓國併合ノ事業ニ直接關與シタル者及韓國併合ノ事業ニ伴フ要務ニ關與シタル者
- 二 韓國併合ノ際朝鮮ニ在勤シタル官吏及官吏待遇者並韓國併合ノ際ニ於ケル韓國政府ノ官吏及官吏待遇者
- 三 從前日韓關係ニ於テ功績アリタル者
- 第四條** 左ニ掲タル事項ノ一一該當スル者ニハ記念章ヲ授與セ

ス但シ處刑、免官又ハ免職ノ後前條ニ該當スル者ハ此ノ限ニ  
在ラス

一 禁錮又ハ禁獄以上ノ刑ニ處セラレタルトキ  
二 懲戒處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタルトキ

**第五條** 記念章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ子孫之ヲ保存スル

コトヲ得

**第六條** 記念章ヲ授與セラルヘキ者其ノ授與前死亡シタルトキ

ハ之ヲ其ノ遺族ニ交付シテ保存セシム

**第七條** 記念章ヲ授與セラレタル者ノ名簿ハ賞勳局ニ於テ之ヲ

保存ス前條ノ規定ニ依リ記念章ヲ交付セラレタル者ノ名簿亦

同シ

記念章ノ圖

		綏
白色	黃色	紅色
黃色		白色
白色		

裏

表



第十二類 記 章

四四八ノ二

●紀元二千六百年祝典記念章令

昭和十五年七月二十七日  
勅令第四百八十八號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ紀元二千六百年祝典記念章令ヲ裁可シ

茲ニ之ヲ公布セシム（臣副署）  
（總理大臣副署）

紀元二千六百年祝典記念章令

第一條 紀元二千六百年祝典記念ノ表章トシテ記念章ヲ設ク

第二條 記念章ノ圖式左ノ如シ

章 アルミニウム青銅圓形徑三纏トス

表面ニハ輪廓内ニ菊御紋、賢所、皇靈殿、神殿及宮

城ノ圖ヲ表シ裏面ニハ輪廓内中央ニ紀元二千六百年

祝典記念章ノ文字、下部ニ昭和十五年ノ文字ヲ識ス

環 アルミニウム青銅圓形トス

綬 織地幅三纏六耗トス

空色ニ八條ノ紅線トス

記念章ハ綬ヲ用ヒテ左肋ニ佩ブ

第三條 記念章ハ左ニ掲タル者ニ之ヲ授與ス

一 昭和十五年紀元節祭ニ召サレタル者

二 紀元二千六百年式典ニ招カレタル者

三 祝典ノ事務及祝典ニ伴フ要務ニ關與シタル者

前項ニ規定スル者以外ノ者ニモ特ニ記念章ヲ授與スルコトア  
ルベシ

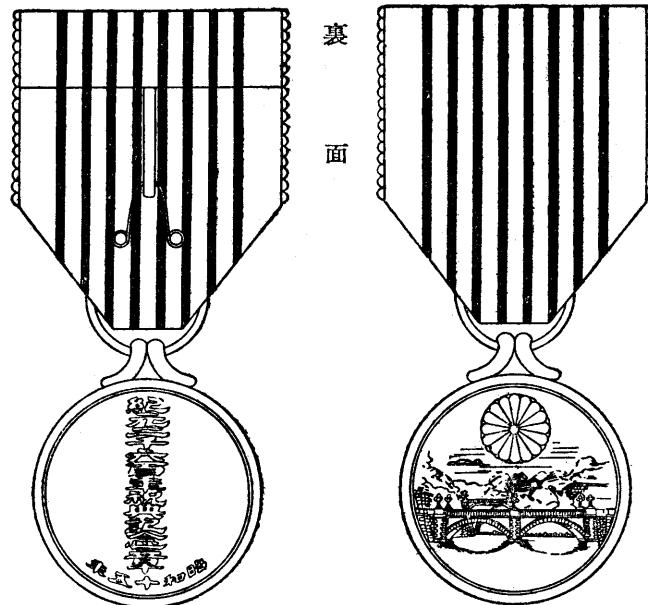
第四條 記念章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ子孫ヲシテ之ヲ保  
存セシム

第五條 記念章ヲ授與セラルベキ者其ノ授與前死亡シタルトキ  
ハ之ヲ其ノ家督相續人又ハ戸主ニ交付シテ保存セシム

紀元二千六百年祝典記念章ノ圖

表  
面

裏  
面



## ●明治二十七八年從軍記章條例

明治二十八年十月九日  
勅令第二百四十三號

朕明治二十七八年從軍記章條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
(總理大臣) (副署)

### 明治二十七八年從軍記章條例

第四條 第三條ニ掲タル者ニ該當セスト雖同役ノ軍務ニ從事シ  
若クハ之ヲ幫助シタル者ニハ特ニ從軍記章ヲ授與スルコトア  
ルヘシ

第五條 第三條第四條ニ該當スル者ト雖開戦以後左ニ掲タル事  
項ノニ一該當スル者ニハ從軍記章ヲ授與セス

一 重禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ  
二 軽禁錮ノ刑ヲ受ケ剝官ヲ附加セラレ若クハ官職ヲ失フタ  
ルトキ

第三條 從軍記章ハ敵軍ヨリ奪獲シタル大礮ノ地金ヲ以テ製造  
ス其ノ圖式左ノ如シ  
章 銅、寶珠ノ形堅一寸一分横一寸表面ニ菊御紋及陸軍聯隊  
旗ト海軍軍艦旗ト交叉シタル圖、裏面ニ明治二十七八年  
從軍記章ノ十一字ヲ識ス

紐 銅、飴版ヲ附ス  
綬 織地・幅一寸二分中央白兩緣線

第三條 從軍記章ハ左ニ掲タル者ニ授與ス  
一 明治二十七八年ノ戰役ニ於テ大本營ニ從屬シ又ハ  
出征軍ニ編入セラレ戰地ニ在リシ者

第六條 從軍記章ノ褫奪及佩用停止ニ關シテハ明治十六年第  
十一號布告ヲ適用ス  
第七條 從軍記章ハ本人ニ限リ終身之ヲ佩用シ子孫之ヲ保存ス  
ルコトヲ許ス

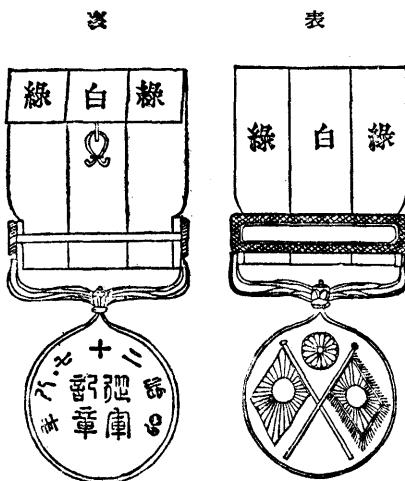
〔海軍〕

第八條 従軍記章ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スル者其ノ授與前死亡シタルトキハ之ヲ其ノ遺族ニ付與シテ保存セシム

第九條 従軍記章ヲ授與セラレタル者ノ名簿ハ賞勳局ニ於テ之ヲ保存ス前條ニ依リ從軍記章ヲ付與セラレタル者ノ名簿亦同シ

第十條 従軍記章ノ奏請及授與ノ規程ハ別ニ之ヲ定ム

明治二十七八年從軍記章ノ圖



## ●明治三十三年從軍記章條例

明治三十五年四月二十一日  
勅令第百四十二號

朕明治三十三年從軍記章條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理大臣)  
(副署)

明治三十三年從軍記章條例

第一條 明治三十三年清國事變ノ平定ニ關與シタル者ニ授與ス

ル爲從軍記章ヲ設ク

第二條 従軍記章ノ圖式左ノ如シ

章 銅、圓形徑一寸表面ニ菊御紋及鳳凰ノ圖ヲ鑄出シ中央ニ  
從軍記章ノ四字ヲ識シ裏面ニ大日本帝國明治三十三年ノ

十一字ヲ識ス

飾版 銅、清國事變ノ四字ヲ識ス

鉢 銅

綬 織地、幅一寸二分地綠三線白  
從軍記章ハ綬ヲ用井テ左肋ニ佩フ

佩用式

一 明治二十七八年從軍記章ハ綬ヲ用井テ左肋ニ佩フ

第十二類 記 章

一 戰地ニ在リテ軍務ニ從事シタル陸海軍軍人軍屬及文官竝之ニ準スヘキ者

二 戰地ニ在リテ病傷者ノ救護ニ從事シタル者

三 戰地ニ臨マサルモ戰時編制部隊ニ編入セラレタル者

四 特別ノ任務ヲ受ケテ戰地ニ往復シタル陸海軍軍人軍屬及

文官、内地ニ在リテ事變ニ關スル軍務ニ從事シタル陸海軍軍人軍屬、内地ニ在リテ病傷者ノ救護ニ從事シタル者

及戰地ニ往復シタル運送船病院船ノ船員  
前項第一號及第二號ニ依ルヘキ者ハ明治三十三年六月十一日  
ヨリ明治三十四年六月一日迄、第三號及第四號ニ依ルヘキ者  
ハ明治三十三年六月十一日ヨリ明治三十三年十一月三十日迄  
ノ間ニ於テ之ニ該當スル者ニ限ル

第四條 從軍記章ハ帝國ノ軍隊艦船ト聯合シタル外國ノ軍隊艦  
船所屬ノ軍人軍屬ニモ授與スルコトアルヘシ

第五條 第三條ニ該當スルモ左ニ掲クル事項ノ一二當ル者ニハ  
從軍記章ヲ授與セス但シ處刑又ハ免官ノ後第三條ニ該當シタ  
ル者ニハ特ニ之ヲ授與スルコトアルヘシ

一 重禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 輕禁錮ノ刑ヲ受ケ剝官ヲ附加セラレ又ハ官職ヲ失ヒタル  
トキ

三 懲戒處分ニ依リ免官セラレタルトキ

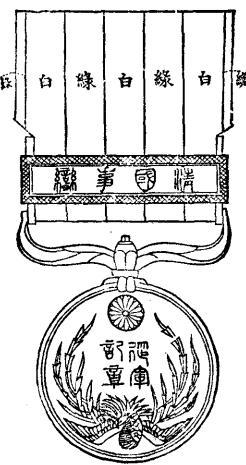
第六條 從軍記章ノ褫奪及佩用停止ニ關シテハ明治十六年第一  
十二號布告ヲ準用ス

第七條 從軍記章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ子孫之ヲ保存ス  
ルコトヲ許ス

第八條 從軍記章ヲ授與セラルヘキ者其ノ授與前死亡シタルト  
キハ之ヲ其ノ遺族ニ付與シ保存セシム

第九條 從軍記章ヲ授與セラレタル者ノ名簿ハ賞勳局ニ於テ之  
ヲ保存ス前條ニ依リ從軍記章ヲ付與セラレタル者ノ名簿亦同  
シ

表



〔海軍〕

明治三十七八年戰役ノ八字ヲ識ス

節版 銅表面ニ從軍記章ノ四字ヲ識ス

裏



## ●明治三十七八年從軍記章條例

〔明治三十九年三月三十一日  
勅令第五十一號〕

朕明治三十七八年從軍記章條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理大臣)

明治三十七八年從軍記章條例

第一條 明治三十七八年戰役記念ノ表章トシテ特ニ從軍記章ヲ設ク

第二條 從軍記章ノ圖式左ノ如シ

章

銅圓形徑一寸表面ニ菊及桐ノ御紋章竝陸軍聯隊旗ト  
海軍軍艦旗ト交叉シタル圖ヲ鑄出シ裏面ニ月桂樹ト  
戰捷草ヲ交叉シ中央ニ柄ヲ置キタル圖ヲ鑄出シ柄ニ

第五條 從軍記章ハ傭役人夫ノ類及之ニ準スヘキ下級船員等ニ

四五三

第十二類 記 章

ハ之ヲ授與セス但シ特種ノ軍務ニ服シ功績アル者ニ限リ特ニ  
之ヲ授與スルコトアルヘシ

**第六條** 左ニ掲タル事項ノ一ニ當ル者ニハ從軍記章ヲ授與セス  
但シ處刑、免官又ハ免職ノ後第三條又ハ第四條ニ該當スル者  
ハ此ノ限ニ在ラス

一 重禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 輕禁錮ノ刑ヲ受ケ剝官ヲ附加セラレ又ハ官職ヲ失ヒタル  
トキ

三 懲戒處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタルトキ

**第七條** 従軍記章ハ本人ニ限リ終身之ヲ佩用シ子孫之ヲ保存ス  
ルコトヲ得

**第八條** 従軍記章ノ櫛套及佩用停止ニ關シテハ明治十六年第二  
十二號布告ヲ準用ス

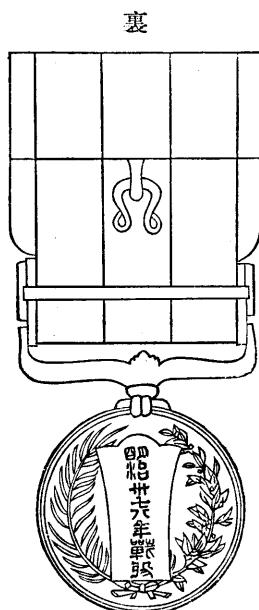
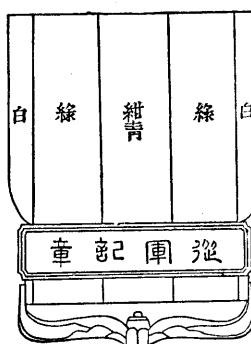
**第九條** 従軍記章ヲ授與セラルヘキ者其ノ授與前死亡シタルト  
キハ之ヲ其ノ遺族ニ交付シテ保存セシム

**第十條** 従軍記章ヲ授與セラレタル者ノ名簿ハ賞勳局ニ於テ之  
ヲ保存ス前條ニ依リ從軍記章ヲ交付セラレタル者ノ名簿亦同

シ

明治三十七八年從軍記章ノ圖

表



四五四

# ●大正三年乃至九年戦役從軍記章令

〔海軍〕

綬 織地幅一寸二分中央白左右紺青

從軍記章ハ綬ヲ用井テ左肋ニ佩フ

大正四年十一月六日  
勅令第二百三號

改正 大正九年第四號

朕大正三四年從軍記章令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理大臣)  
(副署)

第三條 従軍記章ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ授與ス

一 戰地ニ在リテ軍務ニ從事シ又ハ軍事ニ關スル特別ノ任務

ヲ受ケテ戰地ニ往復シタル陸海軍軍人軍屬及文官

二 戰地ニ臨マサルモ動員部隊若ハ戰役ノ爲臨時編成シタル  
部隊ニ編入セラレ又ハ戰役ニ關スル軍務ニ從事シタル陸

海軍軍人軍屬

四 陸海軍官憲ノ監督ヲ受ケ戰役ニ關スル傷病者ノ救護ニ從

事シタル者

前項各號ノ一ニ該當スル者ト雖備役人夫ノ類又ハ之ニ準スヘ

裏面ニ大正三四年戰役ノ七字ヲ識ス但シ大正九年二月  
以後ニ於テ授與スル從軍記章ノ裏面ノ文字ハ大正三年  
乃至九年戰役ノ十字トス

第五條 戰役ニ關スル軍務ヲ幫助シ特ニ功績アル者又ハ許可ヲ  
得テ從軍シタル者ニハ特ニ從軍記章ヲ授與スルコトアルヘ

鈕 銅  
飾版 銅表面ニ從軍記章ノ四字ヲ識ス

第十二類 記 章

四五六

第五條

禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セス但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者及陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一年未満ノ禁錮ニ處セラレタル者ニハ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルヘシ

第六條

懲戒ノ裁判又ハ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セス但シ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルヘシ

第七條

前二條ノ規定ハ處刑、免官又ハ免職ノ後第三條又ハ第四條ノ規定ニ該當スル者ニ付テハ之ヲ適用セス

第八條

從軍記章ヲ授與セラルヘキ者ニ對シテハ其ノ授與前死亡シタルトキト雖仍之ヲ授與ス

第九條

從軍記章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ遺族之ヲ保存スルコトヲ許ス

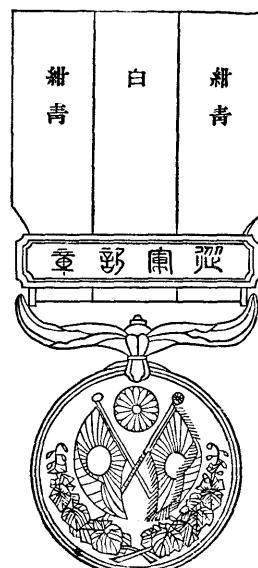
附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

裏面ニ大正三年乃至九年戰役ノ文字ヲ識シタル從軍記章ヲ授與セラレタル者ハ裏面ニ大正三四年戰役ノ文字ヲ識シタル從軍記章ヲ佩用スルコトヲ得ス

大正三年乃至九年戰役從軍記章ノ圖

表



裏



## ●大正三年乃至九年戦役從軍記章授

### 與規程

大正四年十二月二十日  
閣令第二號

改正 大正九年第六號

大正三四年從軍記章授與規程左ノ通定ム

大正三年乃至九年戦役從軍記章授與規程

第一條 大正三年乃至九年戦役從軍記章令第三條又ハ第四條ノ

規定ニ依リ從軍記章ヲ授與セラルヘキ者ノ名簿ハ陸軍大臣又

ハ海軍大臣之ヲ賞勳局總裁ニ移牒スヘシ

第二條 從軍記章ヲ授與セラルヘキ者ノ名簿ハ行賞ヲ受クル者

ニ付テハ其ノ行賞ノ日、其ノ他ノ者ニ付テハ賞勳局總裁ノ指定スル日ノ現在ノ官位勳功爵氏名ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 従軍記章及其ノ證狀ハ名簿移牒官廳ヲ經テ各本人ニ傳達スルモノトス

### 附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔海軍〕

●昭和六年乃至九年事變從軍記章令

昭和九年七月二十三日  
勅令第二百二十五號

昭和六年乃至九年事變從軍記章令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
（總理大臣）

昭和六年乃至九年事變從軍記章令

第一條 昭和六年乃至九年事變記念ノ表章トシテ特ニ從軍記章ヲ設ク

第二條 從軍記章ノ圖式左ノ如シ

第一章 青銅圓形徑三種トシ表面ニ菊御紋、背光及上代ノ楯  
ニ止リタル鷦ノ圖ヲ鑄出シ裏面ニ陸海軍ノ鐵兜及櫻

花ノ圖ヲ鑄出シ昭和六年乃至九年事變ノ十字ヲ識ス

節版 青銅トシ表面ニ從軍記章ノ四字ヲ識ス

鉢 青銅トシ表面及裏面ニ日蔭蔓ノ圖ヲ鑄出ス

綬 織地幅三種六耗トシ中央濃紅色、其ノ左右内側ヨリ

各黃色、淺紅色、緋褐色、紅海老茶色トス

從軍記章ハ綬ヲ用ヒテ左肋ニ佩ブ

第三條 從軍記章ハ左ノ各號ノ一一該當スル者ニ之ヲ授與ス

一 事變地ニ在リテ軍務ニ從事シ又ハ軍事ニ關スル特別ノ任

務ヲ受ケテ事變地ニ往復シタル陸海軍軍人軍屬及文官

二 事變地ニ臨マザルモ動員部隊若ハ事變ノ爲臨時編成シタ  
ル部隊ニ編入セラレ又ハ事變ニ關スル軍務ニ從事シタル陸

海軍軍人軍屬

三 事變ニ關スル軍務ニ從事シタル陸海軍官用船舶又ハ病院

船ノ乗組船員

四 陸海軍官憲ノ監督ヲ受ケ事變ニ關スル傷病者ノ救護ニ從

事シタル者

前項各號ノ一一該當スル者ト雖モ傭役人夫ノ類又ハ之ニ準ズ  
ベキ下級船員等ニ在リテハ特殊ノ軍務ニ服シ且功績アル者ニ  
非ザレバ從軍記章ヲ授與セズ

第五條 事變ニ關スル軍務ヲ幫助シ特ニ功績アル者又ハ許可ヲ

得テ從軍シタル者ニハ特ニ從軍記章ヲ授與スルコトアルベシ

ズ但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者及陸軍刑法又ハ海軍刑法  
ニ依リ一年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ニハ其ノ情狀ニ  
依リ之ヲ授與スルコトアルベシ

第十二類 記 章

四六〇

**第六條** 懲戒ノ裁判又ハ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セズ但シ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルベシ

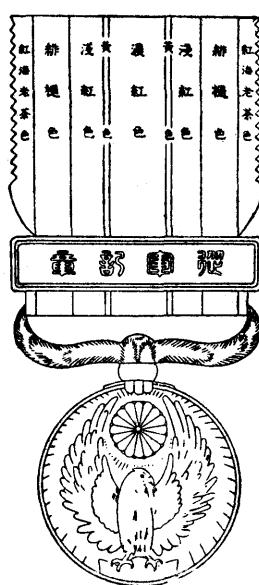
**第七條** 前二條ノ規定ハ處刑、免官又ハ免職ノ後第三條又ハ第四條ノ規定ニ該當スル者ニ付テハ之ヲ適用セズ

**第八條** 従軍記章ヲ授與セラルベキ者ニ對シテハ其ノ授與前死亡シタルトキト雖モ仍之ヲ授與ス

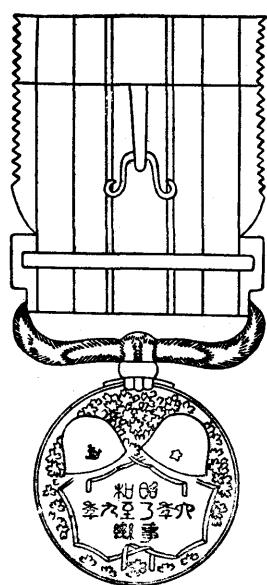
**第九條** 従軍記章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ遺族之ヲ保存スルコトヲ許ス

昭和六年乃至九年事變從軍記章ノ圖

表 面



裏 面



## ●昭和六年乃至九年事變從軍記章授與規程

昭和九年七月二十三日  
閣令第二號

昭和六年乃至九年事變從軍記章授與規程左ノ通定ム

昭和六年乃至九年事變從軍記章授與規程

第一條 昭和六年乃至九年事變從軍記章令第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ從軍記章ヲ授與セラルベキ者ノ名簿ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ賞勳局總裁ニ移牒スベシ

第二條 從軍記章ヲ授與セラルベキ者ノ名簿ハ行賞ヲ受クル者ニ付テハ其ノ行賞ノ日、其ノ他ノ者ニ付テハ賞勳局總裁ノ指定スル日ノ現在ノ官位勳功爵氏名ニ依リ之ヲ調製スベシ

第三條 従軍記章及其ノ證狀ハ名簿移牒官廳ヲ經テ各本人ニ傳達スルモノトス

## ●支那事變從軍記章令

改正 昭和十九年第四一八號  
昭和十四年七月二十七日 勅令第四百九十六號

公布セシム（副署）

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ支那事變從軍記章令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ  
支那事變從軍記章令

第一條 支那事變記念ノ表章トシテ特ニ從軍記章ヲ設ク

第二條 從軍記章ノ圖式左ノ如シ

章 青銅圓形徑三糧トシ表面ニ菊御紋、八咫烏、軍旗、

軍艦旗、瑞雲及光ノ圖ヲ鑄出し裏面ニ山、雲及波ノ  
圖ヲ鑄出し支那事變ノ四字ヲ識ス

節版 青銅トシ表面ニ從軍記章ノ四字ヲ識ス

鈕 青銅トシ表面及裏面ニ日蔭蔓ノ圖ヲ鑄出ス

綬 織地幅三糧六耗トシ中央赤色、其ノ左右内側ヨリ各

紅色、香色、納戸色、濃桔梗色トス

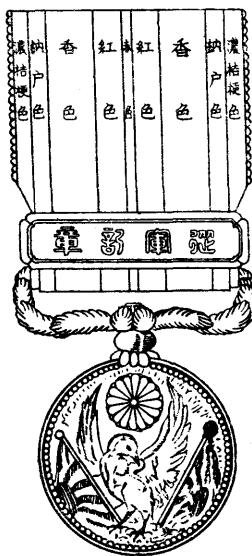
從軍記章ハ綬ヲ用ヒテ左肋ニ佩ブ

第三條 従軍記章ハ左ノ各號ノ一一該當スル者ニ之ヲ授與ス但

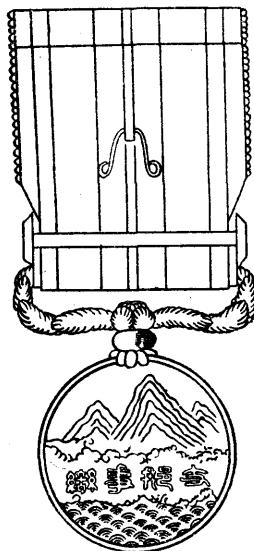
第四條 事變ニ關スル軍務ヲ幫助シ特ニ功績アル者又ハ許可ヲ  
得テ從軍シタル者ニハ特ニ從軍記章ヲ授與スルコトアルベシ  
第五條 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セ

支那事變從軍記章ノ圖

表 面



裏 面



- ズ但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者及陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ニハ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルベシ
- 第六條 懲戒ノ裁判又ハ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セズ但シ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルベシ
- 第七條 前二條ノ規定ハ處刑、免官又ハ免職ノ後第三條又ハ第四條ノ規定ニ該當スル者ニ付テハ之ヲ適用セズ
- 第八條 從軍記章ヲ授與セラルベキ者ニ對シテハ其ノ授與前死亡シタルトキト雖モ仍之ヲ授與ス
- 第九條 従軍記章ハ本人ニ限リ終身之ヲ佩用シ遺族之ヲ保存スルコトヲ許ス

## ●支那事變從軍記章授與規程

昭和十四年七月二十七日  
閣令第十一號

支那事變從軍記章授與規程左ノ通定ム

支那事變從軍記章授與規程

第一條 支那事變從軍記章令第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ從軍記章ヲ授與セラルベキ者ノ名簿ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ賞勳局總裁ニ移牒スベシ

第二條 從軍記章ヲ授與セラルベキ者ノ名簿ハ行賞ヲ受クル者ニ付テハ其ノ行賞ノ日、其ノ他ノ者ニ付テハ賞勳局總裁ノ指定スル日ノ現在ノ官位勳功爵氏名ニ依リ之ヲ調製スベシ

第三條 從軍記章及其ノ證狀ハ名簿移牒官廳ヲ經テ各本人ニ傳達スルモノトス

## ● 戰捷記章令

大正九年九月十七日  
勅令第四百六號

朕戰捷記章令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（總理大臣副署）

### 戰捷記章令

第一條 大正三年乃至九年戰役ノ同盟及聯合國勝利記念ノ國際表章トシテ特ニ戰捷記章ヲ設ク

### 第二條 戰捷記章ノ圖式左ノ如シ

章 青銅圓形徑一寸二分表面ニ武藝植像ヲ表シ裏面ニ櫻

花ノ圖、地球ノ圖竝日本國、亞米利加合衆國、英帝國、

佛蘭西國及伊太利國ノ國旗ノ圖ヲ表シ文明擁護之大戰

日米英佛伊其他同盟及聯合國自大正三年至大正九年ノ

三十字ヲ識ス

綬 織地幅一寸二分兩緣白線二箇ノ虹ヲ赤色ヲ中央トシテ

竝置ス

戰捷記章ハ綬ヲ用ヰテ左肋ニ佩フ

第三條 戰捷記章ハ大正三年八月二十三日ヨリ大正九年一月九

日迄ノ間ニ於テ戰役ニ關スル軍務ニ從事シ功績顯著ナル戰鬪

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 附 則

第六條 前二條ノ規定ハ處刑、免官又ハ免職ノ後第三條ノ規定ニ該當スル者ニ付テハ之ヲ適用セス

第七條 戰捷記章ヲ授與セラルヘキ者ニ對シテハ其ノ授與前死亡シタルトキト雖仍之ヲ授與ス

第八條 戰捷記章ハ本人ニ限リ終身之ヲ佩用シ遺族之ヲ保存スルコトヲ許ス

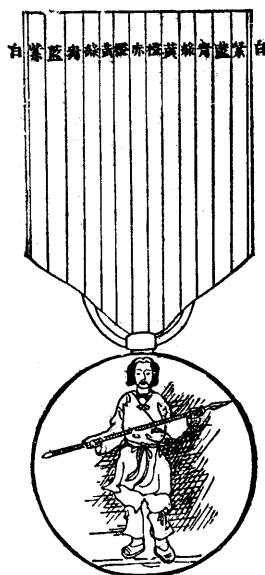
員ニ之ヲ授與ス

第四條 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニハ戰捷記章ヲ授與セス但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者及陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ニ處セラレタル者ニハ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルヘシ

第十二類 記章

戰捷記章ノ圖

表



裏



〔海三十五〕 諸二ノ二五九

## ●支那事變記念章令

一 支那事變從軍記章ヲ授與セラル者

昭和十七年九月二十六日  
勅令第六百五十八號

改正 昭和一九年第四一八號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ支那事變記念章令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公

布セシム（總理大臣）  
副署

支那事變記念章令

第一條 支那事變記念ノ表章トシテ特ニ記念章ヲ設ク

第二條 記念章ノ圖式左ノ如シ

章 青銅圓形徑三纏トシ表面ニ菊御紋及櫻花ノ圖ヲ表シ

裏面ニ支那事變記念章ノ文字ヲ識ス

環 青銅圓形トス

綬 織地幅三纏六耗トシ中央赤色、其ノ左右内側ヨリ各

紅色、香色、納戸色、濃桔梗色トス

記念章ハ綬ヲ用ヒテ左肋ニ佩ブ

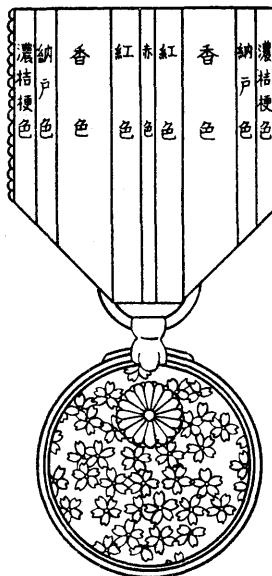
第三條 記念章ハ支那事變遂行ニ關シ特別ノ貢獻ヲ爲シタル者

ニ之ヲ授與ス

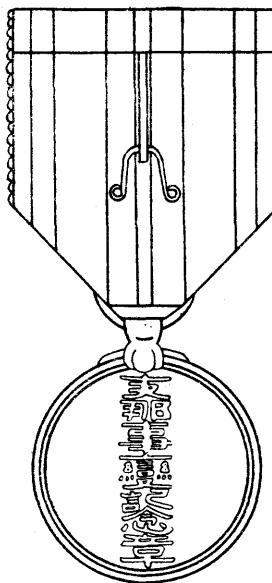
但シ左ノ各號ノ一二該當スル者ニハ之ヲ授與セズ

支那事變記念章ノ圖

表 面



裏 面



●大東亞戰爭從軍記章令

昭和十九年六月二十一日  
勅第四百四十七號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ大東亞戰爭從軍記章令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（總理大臣副署）

大東亞戰爭從軍記章令

第一條 大東亞戰爭記念ノ表章トシテ特ニ從軍記章ヲ設ク  
第二條 從軍記章ノ圖式左ノ如シ

錫圓形徑三糧トシ表面ニ菊御紋、太刀、光線及櫻花ノ圖ヲ鑄出シ裏面ニ楯ノ圖ヲ鑄出シ大東亞戰爭ノ五

字ヲ識ス

飾版 錫トシ表面ニ從軍記章ノ四字ヲ識ス

鉢 錫トシ表面ニ曲玉、管玉及丸玉ノ圖ヲ鑄出ス

綬 織地幅三糧六耗トシ中央鵠色、其ノ左右内側ヨリ各崩黃色、納戶色、濃桔梗色トス

從軍記章ハ綬ヲ用ヒテ左肋ニ佩ブ

第三條 從軍記章ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ授與ス

一 戰地ニ在リテ軍務ニ從事シ又ハ軍事ニ關スル特別ノ任務ヲ受ケテ戰地ニ往復シタル陸海軍軍人軍屬及文官

二 戰地ニ臨マザルモ動員部隊若ハ戰爭ノ爲臨時編成シタル部隊ニ編入セラレ又ハ戰爭ニ關スル軍務ニ從事シタル陸海軍軍人軍屬

三 戰爭ニ關スル軍務ニ從事シタル陸海軍官用船舶又ハ病院船ノ乘組船員

四 陸海軍官憲ノ監督ヲ受ケ戰爭ニ關スル傷病者ノ救護ニ從事シタル者

前項各號ノ一一該當スル者ト雖モ其ノ業務ノ種類及功績ノ程度ニ依リ從軍記章ヲ授與セザルコトアルベシ

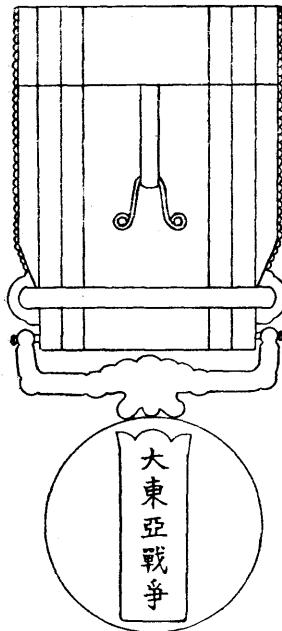
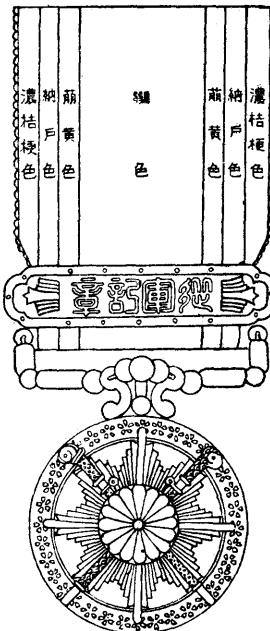
第四條 戰爭ニ關スル軍務ヲ幫助シ特ニ功績アル者又ハ許可ヲ得テ從軍シタル者ニハ特ニ從軍記章ヲ授與スルコトアルベシ

第五條 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニハ從軍記章ヲ授與セズ但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者及陸軍刑法又ハ海軍刑法ニ依リ一年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ニハ其ノ情狀ニ依リ之ヲ授與スルコトアルベシ

第六條 懲戒ノ裁判又ハ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者

大東亞戰爭從軍記章ノ圖

裏面



●大東亞戰爭從軍記章授與規程

昭和十九年六月二十一日  
閣令第二十四號

大東亞戰爭從軍記章授與規程

大東亞戰爭從軍記章授與規程

第一條 大東亞戰爭從軍記章令第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ

從軍記章ヲ授與セラルベキ者ノ名簿ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ賞勳局總裁ニ移牒スペシ

第二條 從軍記章ヲ授與セラルベキ者ノ名簿ハ行賞ヲ受クル者ニ付テハ其ノ行賞ノ日、其ノ他ノ者ニ付テハ賞勳局總裁ノ指定スル日ノ現在ノ官爵氏名ニ依リ之ヲ調製スペシ

第三條 從軍記章及其ノ證狀ハ名簿移牒官廳ヲ經テ各本人ニ傳達スルモノトス